

【 2023 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

保育・教育理念に基づき、一人ひとり丁寧な関りの中で保育を行っている。保育者と子どもとの信頼関係が築けており、どの年齢でも安心の中でじっくりと遊びこむ様子やいきいきと遊びに参加する様子が見られた。一人一人に寄り添いながら、愛のある保育が日常の中で行われていることが感じられた。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

個々の発達や状況に合わせた関りや対応を、職員で共有しながら子どもの気持ちを受け止めていた。“子どもたちにとって大切なこと”を最優先に環境が整えられ、成長発達や興味関心にあった取り組みがなされていた。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

適切に管理されている。
個人情報は、施錠でき、セキュリティがある場所（部屋）で保管されている。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

苦情解決マニュアルにそって、適切に管理されている。
保護者の方からご意見があった場合には、園長・主任・副主任を中心に真摯に対応している。必要な情報を職員間で共有し、改善に努めている。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

衛生委員会を定期的に行い、園内の感染対策や園児の健康管理に努めている。必要な情報は、速やかに全職員へ周知されている。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

毎月避難訓練を実施し、園児や職員の防災教育を行っている。また、必要な勉強会を実施し、職員の完全管理や対応能力向上のために努めている。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

修理が必要な箇所や園内の危険箇所については速やかに確認し、修繕を行う等の適切な対応がとられている。また、必要な点検も適宜行われている。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

園内・園庭の清掃が行き届き、清潔に管理されている。植物や生き物の飼育等、子どもたちにとっても穏やかに過ごせる空間が設けられ、心地よく過ごしやすい環境である。また、園庭や園周辺は緑豊かで、その環境を活かしながら保育を行っているため季節感が楽しめる環境であった。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

玩具は子どもたちが選んで使えるよう、手が届くところに配置され、自由に取り出して楽しめるようになっている。発達年齢に合わせた玩具が用意されており、子どもたちが遊びこめるよう遊びごとに空間を仕切る等、環境も工夫されていた。布製や木製の玩具が整えられており、あたたかみを感じられた。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

- ・保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2歳児

- ・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3歳児

- ・保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ

- ・あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

どのクラスも、子どもたちの年齢発達や興味関心に合わせて環境が整えられていた。子どもたち一人ひとりが生き生きと自分のやりたい遊びに取り組み、園で安心して過ごす様子が感じられた。そこに関わる職員も、穏やかに、子どもたちの気持ちを汲みながら関わる姿が印象的であった。

園庭では、複数のクラスが一緒に遊んでいたが、その中で異年齢が自然に関わっている姿があった。3歳児のしっぽとりの中に1歳児の子が混ざる場面があったが、3歳児が1歳児の子の手を引いて、安全な場所まで誘導する姿が見られた。職員も安全に配慮しながら子ども同士の関りを見守っており、共に生活する中で、自然に周囲への興味関心が芽生えたり、小さい子を優しく労わる気持ちが育っていることを感じた。

幼児クラスでは、子どもの興味関心に合わせた環境が整えられており、継続的に遊びを楽しめる環境であった。また、集団の中で個々の対応や見守りが丁寧に行われていたと感じた。

【全体を通して】

園全体が明るく、あたたかみのある雰囲気であり、職員の穏やかな対応からも心地さが感じられた。子ども一人ひとりを理解し受け止めようとする保育者の気持ちがどのクラスでも感じられ、子どもたちも安心の中でのびのびと過ごしていた。

保育者同士も声を掛け合いながら連携を図っており、全体的に、風通しのよさ、雰囲気の良さを感じた。

評価日 2024年 2月 6日

評価者 園名 聖隷こども園こうのとり富丘
役職 園長
氏名 二村 郁枝